

## 順天堂大学医学部附属静岡病院による地域医療の充実に対して支援・協力する決議

順天堂大学医学部附属静岡病院は、同大学医学部附属伊豆長岡病院として昭和42年開業して以来、40数年に及ぶ地域医療への貢献は広く知られるところであり、先端医療を有する東京の医科大学の地方進出は、地域住民にとって非常に心強いものとなった。地方進出の英断を下した当時の理事長に感謝しなければならない。

現在は、伊豆の国市及び伊豆市のみならず、伊豆半島、静岡県東部地区随一の基幹病院として、東部地域県民120万人の生命と健康を守っている。救急医療の面においても、全国で18機しかない「ドクターヘリ」を有し、年間5,000回以上の急患受け入れにより、毎日、尊い生命が救われている。

順天堂大学医学部附属静岡病院は、こうした永年にわたる高度な医療の提供により、地域総合病院として、あるいはそれ以上の役割を果たしているほか、地域の雇用や経済面等への波及効果も大きく、財政をはじめ多方面に及ぶ地域への貢献度は多大なものがある。

近年の超高齢化社会において、全国的に医師不足が危惧され、地方の医療崩壊が大きな社会問題となっている現在、伊豆地域における恵まれた医療環境は、安心な日常生活を過ごしていく上で、最も重要かつ不可欠で、地域住民の喜ぶべきことである。

よって伊豆市議会は、順天堂大学医学部附属静岡病院のこれまでの功績に対し敬意を表明すると同時に、今後も伊豆の地域医療の要となる同院の医療体制の維持・充実に対して、支援・協力する。

以上、決議する。

平成23年3月22日

伊豆市議会